

50 巻 (2017 年)

3 号 (5-6 月号)

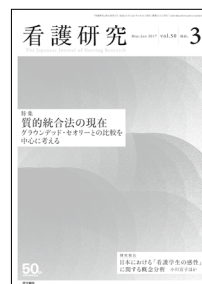
質的統合法の現在

グラウンデッド・セオリーとの比較を中心に考える

【座談会】質的統合法 (KJ 法) とグラウンデッド・セオリー 正木治恵ほか／クラシック・グラウンデッド・セオリーの考え方と方法 小島通代／クラシック GT と KJ 法およびそれに準拠した質的統合法 (KJ 法) の比較 山浦晴男／看護研究に質的統合法 (KJ 法) を用いる意義 正木治恵／【コラム】質的統合法 (KJ 法) と精神療法の接点の可能性 丸山晋／質的統合法 (KJ 法) の看護研究への活用発展性 小林裕美／質的統合法 (KJ 法) の博士論文への活用の実態とその有用性 高橋良幸／英国における KJ 法の展開 野村俊夫／Qualitative Research Approaches Used in Nursing Studies: An Overview of with Examples Deidre Wild ほか

研究報告 ●

日本における「看護学生の感性」に関する概念分析 小川宣子ほか



2 号 (3-4 月号)

若手研究者育成のさらなる進展

海外大学の視察を中心に

東京大学医学部附属 Global Nursing Research Center 構想 真田弘美ほか／視察報告[若手研究者育成の視点]National Institute of Nursing Research 真田弘美ほか／University of Pennsylvania 山本則子ほか／Johns Hopkins University 副島亮史ほか／University of California, San Francisco 野口麻衣子ほか／[看理連携の視点]NINR における所内研究 仲上豪二郎ほか／[看工連携の視点]University of Missouri, Columbia 森武俊ほか／The University of British Columbia 吉田美香子ほか／日本の看護学研究と東京大学 Global Nursing Research Center がめざすもの 山本則子

特別記事 ●

文化人類学から医療人類学への道、そして質的研究への思い 波平恵美子
第 2 回日本混合研究法学会年次大会を振り返って 野崎真奈美、福田美和子



1 号 (1-2 月号) DNP の理念と実際—専門看護師をさらに育てる博士課程教育

49 巻 (2016 年) もご覧ください！

7 号 (11-12 月号) 研究の意味—多領域とともに考える

6 号 (9-10 月号) よい論文とは？ おもしろい論文とは？